ユニークな作品が勢ぞろい！

第21回窯山子（かまし）まつり

8月11日～22日まで、市島地域の鴨庄地区で案山子まつりが行われ、世界で1つだけのユニークな案山子48体が披露されました。夏の田園に、流行を反映した案山子が並ぶ風景は、鴨庄地区の夏の風物詩として親しまれています。

案山子まつりは鴨庄地区の地域づくりの取り組みとして、集落内の横のつながりを深めるために平成10年に始まり、今年で21年目を迎えました。

今年は市創生シティプロモーション支援事業の1つに採択され、来場者に自然とのふれあいを楽しんでもらうために、鴨庄川でニジマスのつかみ取りも行われました。

鴨庄地区自治振興会副会長の木寺章（あきら）さんは、「地域のみんなで案山子を作る過程が一番大切。また、昨年来てくれた人から「次回も楽しみにしています」と手紙が届き、都会の人とも交流が生まれている。来年はカキ氷なども準備して、より楽しんでもらえるように考えていきたいですね」と話しました。

案山子と記念撮影する子どもたち

ニジマスのつかみ取りを楽しむ子どもたち

B＆G全国ジュニア水泳競技大会

上位入賞の快挙！

8月18日、東京で行われたB＆G全国ジュニア水泳競技大会で、入賞の快挙を成し遂げました。

林優利（ゆうり）くん（竹田小4年）が背泳ぎで3位・自由形で8位、足立澪音（みおね）さん（青垣中1年）がバタフライで7位、久下絢乃（あやの）さん（青垣小6年）が平泳ぎで7位に輝きました。また、足立澪音さんは兵庫県代表の一員としてメドレーリレー・フリーリレーにも出場し、それぞれ5位に入賞しました。

快挙を成し遂げ笑顔の選手たち

いつもと違う恐竜がお出迎え

ナイトミュージアムを開催

ライトアップされた海のは虫類の模型

8月11日～19日まで、丹波竜化石工房ちーたんの館でナイトミュージアムが開催され、9日間で2,349人が来場しました。

今年は開催中の「恐竜時代の海と空」展にあわせて、青色の電飾で恐竜の世界を演出。来場者は「ナイトミュージアムは毎年の楽しみ。暗いと海と空の雰囲気を感じられて良いですね」といつもと違う恐竜の姿を楽しみました。

丹波市豪雨災害復興4年イベント「和一処（わっしょい）」

シンポジウムを開催

8月19日、豪雨災害の発生から4年が経過した今、被害や復興の歩みを振り返り、「持続性ある活力社会」をめざすためのイベント「和一処」がライフピアいちじま周辺で開催されました。

兵庫県立大学准教授の澤田雅浩（まさひろ）さんによる基調講演に続き、パネルディスカッションでは、復興に取り組まれた4人のパネリストが「自分にとって災害は何であったか」について意見を交換しました。

それぞれの立場から意見を発表するパネリスト

7作品の歌詞を曲にのせて披露

丹波市の歌公開審査会を開催

歌詞をバックに演奏する歌手の松田佳美さんとピアニストの清水亜由美さん

8月19日、春日文化ホールで、丹波市の歌公開審査会が開催され、応募総数563点の中から1次選考で選ばれた7作品の歌詞が同一歌手・同一ピアニストによる演奏で披露されました。

丹波市の歌を作曲した千住明さんは、「歌詞がついて、僕の書いた曲に心が乗っかったと感じた。いつまでも愛される曲になってほしい」と話しました。丹波市の歌は9月の最終審査で決定されます。

どうしたらいじめがなくなるか考えよう

いじめ・暴力ゼロサミット開催

8月25日、青垣住民センターで「いじめ・暴力ゼロサミット」が開催されました。小中学生58人が参加し、「いじめをなくすためにできることを考えよう」というテーマで話し合いました。

全体会では各グループで考えた「相手の気持ちを考える」「友だちの良いところを見つけて仲を深める」などのいじめをなくす方法を発表し、いじめ・暴力ゼロに向けて決意を新たにしました。

話し合ったことを全体会で発表する参加者

幸せを運ぶ鳥　コウノトリ

今年も丹波市にやってきた！

水辺で餌を探す2羽のコウノトリ

8月21日、氷上町常楽の幸料寺橋付近の河川敷に、コウノトリが6羽飛来しているのが確認されました。6羽のコウノトリは長いくちばしで水面をつつき餌を探したり、大きな翼を広げて水面をたたいたりして、くつろいだ姿を見せました。

コウノトリ個体検索システムで確認すると、6羽のうち4羽が今年4月に生まれた若い鳥で、豊岡市と島根県雲南市から飛来したことが分かりました。